

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのどれだと思いますか？

○ 印を付けて下さい

1. 少年老い易く学成り難し
2. 好事魔多し
3. 勝負は時の運
4. 今日(けふ)は人の身、明日(あす)は我が身
5. 不幸(ふこう)中の幸(さいわ)い

1. 年寄りの冷(ひや)や水(みず)
2. 年寄りは家(いへ)の宝(たから)
3. 年寄りも世帯(せたい)道具(どうぐ)
4. 年寄りの言(い)うこと(こと)は聞(き)くもの
5. 年寄りは二(に)度(ど)目(め)の子(こ)供(ども)

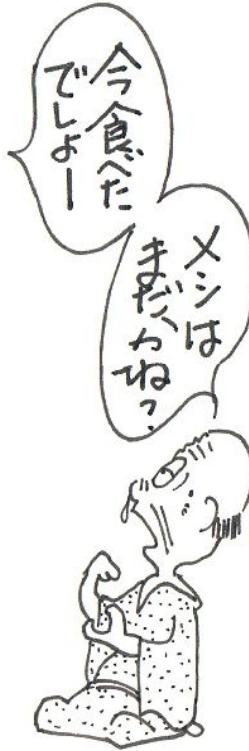


問題

とろろ二度目の子供



としよ 年寄りは一 度目の子供



この場合の子どもは幼児（幼稚園児もしくは小学校低学年）を指す。
日に日に発育していく一度目の子どもは元気がいい。ちっともじっとしていないので

目はなせないお母さんはててこ舞いをさせられる。
「どーして?」が多いのも一度目の子ども。「どーして、タマはネコなの?」

「生まれたときからネコだからよ」
「どーして、お花は赤いの?」
「毎日お水をやっているからよ」
「どーして、たまご焼きはおいしいの?」
「ママが焼くからよ」
一度目の子どもは、
「メシはまだかね?」
「今食べたばかりでしょ」とゴハンを食べたことを忘れることが多く、発育は止まっているから、走り回る足腰はもっていない。

一度目の子どもは頑是（がんぜ）無く、世間のことを知らない純粋で汚れないのに対して、二度目の子どもは、頑是無くごはんをボロボロこぼす。ときどき「どちら様ですか?」と息子や娘に真顔（まがお）で質問する。
何歳（いくつ）ころ二度目の子どもに還（かえ）るか個人差がある。還暦（六〇歳）は、再び生まれた年の干支（えと）に還るという意味らしいが、現代（いま）はまだ壮年の趣（おもむき）がある。
二度目の子どもに還るのは、還暦十年後くらいだとすると、そろそろ私も子どもに還るころにさしかかっていることになる。
はやく子どもに還って遊園地へ行きたい



あぶらぎ笑の仏



不幸中の幸い

ふこうちめう
かかえて「目散



「火事だあ」の声にとび起きて、枕をかかえて外にとび出した。見る間にわが家は炎に巻かれて、あつという間に焼け落ちた。
寝巻き姿でかかえている枕に気がついて、

ほっとした。用心のため全財産は、チャック付きの枕の中にしておくのを習慣にしていたからだ。まさに、不幸中の幸いだった。

しめやかに坊さんの読経（どきよう）が流れる中、棺桶の中でゴソゴソ音がしたかと思ったら、蓋が持ち上がって死んだはずのじいちゃんが息を吹き返して出てきた。通夜の場は阿鼻叫喚（あびきようかん）、大騒動となった。
一日でも長く生きてほしいと願っていた連れ合いの（ばあちゃん）は、まさに不幸中の幸いと喜ぶ。

一方、最後まで舅（しゅうと）に手を焼かされた嫁は、不幸中の不幸と嘆く。
全財産を相続し、新規企業を画策していた長男も同じく、不幸中の不幸。
相続に不満もっていた次男と長女は、相続のやり直しができるか、不幸中の幸いと意欲を新たにす。

人間ドラマはつづく。結婚は人生の墓場お腹に子どもが出来て、仕方なく墓場にのぞんだ新郎。来賓の「人生には三つの坂がある。上り坂と下り坂と、『まさか』という坂です…」の祝辞の最中に、まさかのマグネチュード8の大地震。
驚天動地（きょうてんどうち）のショックで新婦は流産。結婚式は中止。
新郎は不幸中の幸い、新婦は幸福中の不幸。

